

SDGs方針	マテリアリティ			定義	成果目標 (2030)	2024年度行動目標進捗 (毎年更新)		
	目的	ゴール	重点課題					
ものづくり業界の責任を果たし、社会の選択肢を広げられる企業へ	サステナブルなものづくり		① 循環型ものづくり体制の構築	サステナブルな選択肢を世の中に提供するために、発想から発送まで、循環したものづくり体制を構築	飲食/化粧品/ホテル業界に対して、恒常的にアップサイクルができるプラットフォーム SUS cycleを構築	・大手企業と協働で循環型ものづくりを実現、事例 2つHP掲載 ▼株式会社伊藤園様、日本航空株式会社様 https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000240.000032175.html https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000239.000032175.html ・SUS CYCLE より、アメニティアップサイクルサービスを開始 https://sus.i-goods.co.jp/suscycle		
			② 廃棄問題軽減	生産過程の不用品や不良品、納品商品の大量廃棄による環境汚染を軽減するために、廃棄物を再利用したサービスを構築	廃棄物を利用した商品販売を通じて、地球にどのくらい良い影響をもたらしたか数値化	・ADRAjapanへ、オリジナルグッズの制作過程で発生する廃棄サンプルの一部を寄付		
			③ 環境汚染軽減	過剰梱包や輸送による環境汚染を軽減するため、エコな梱包の企画・開発やCO ₂ 排出量の削減に取り組む	(1) サステナブル梱包の納品件数を全体の 10%へ	・25年1月「第15回 化粧品開発展」でエコ梱包を訴求 ・展示会用に梱包チラシを制作 ・25社以上のお客様へエコ梱包をご案内		
		(2) 一人当たり電気使用量を削減			・社内の電気使用量を計測			
		(3) 国際認証を取得した提携工場との取引を増加			・社内の認証として、ISO14001/ISO9001を取得 ・国際認証を取得した提携工場との取引を、年間 5社増加			
		企業のSDGs推進体制を支える新規事業づくり		① メディア発信	他社ないしは社会のSDGs推進度を高めるため、SDGsに関するメディア発信を実施	自社ウェブサイトを有力情報メディアへ	・SUSPROコラム全71件配信 ↳コラム掲載場所 https://sus.i-goods.co.jp/columns ・「エコ アメニティ」「つくる責任つかう責任 問題」「竹 SDGs」など、約50のKWで検索順位 1位を獲得 ・「ホテル SDGs」「アパレル SDGs」「化粧品 SDGs」など、企業向けSDGs KWでも検索順位 1位を獲得	
	② ものづくり支援			他社ないしは社会のSDGs推進度を高めるため、SDGsなもののづくり支援を実施	(1) エコ素材の取り扱いを100種類以上へ増加 (2021年度20種類)	・年15日間の海外工場視察を通じて、エコ素材候補の調査を実施 ・お客様に素材の候補として 25種をご案内		
					(2) SDGs関連の受注*割合を15%以上へ (2021年7%) (* エコ素材を用いたフルオーダー制作事例、 OEM事例)	・サステナブルなものづくりを 300件以上納品 ・2024年4月17日～19日「第7回マーケティング week-春-2024販促EXPO」に出展		
					(3) ホテル向けエコアメニティの取り扱いを100種類以上へ増加 (2024年度37種類)	・ホテル向けエコアメニティの取り扱いを全 62種類掲載 https://sus.i-goods.co.jp/amenity/products ・ホテル向けオリジナルアメニティ制作サービスページ更新 https://sus.i-goods.co.jp/amenity/original ・ホテル向けオリジナルノベルティ制作サービスページ更新 https://sus.i-goods.co.jp/amenity/fulloriginal ・ホテル向けエコ備品・オリジナルグッズを販売する『 SUS supply』サービス提供開始 https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000279.000032175.html		
	③ 組織支援			他社の持続可能な組織づくり支援する新規事業の構築	なし	—		
					(1) プロモーション領域事業を構築	・キャンペーン企画運営、広告ツール制作、売り場制作受託により、お客様の販売促進、ブランディング向上に貢献		
					なし	—		
					(2) ロボット事業の構築	・ロボット取り扱い2機種追加 (全17種類 / エレベーター連携ロボット取り扱い開始) ↳製品一覧サイト https://robot.i-goods.co.jp/products/ ・2024年度展示会4回出展 ・2024年5月「第1回観光DX・マーケティング EXPO」 ・ 2024年9月「第16回ホテル・レストランショー &FOODEX JAPAN」 ・ 2024年11月「第3回スマートレストラン EXPO」 ・ 2025年2月「第53回国際ホテル・レストランショー」		
					(3) 上記4つ以外に、10分野ブランド立ち上げ3ブランド3億円/1ブランド10億円の達成	—		
					なし	—		
	パフォーマンスを発揮できる環境づくり				① 働きがいの向上	第三者機関を持って働きがい指標を定量的に調査。さらに社内の生産性向上のための施策を推進。	(1) 5年連続「働きがいのある会社認定」	・2024年度GPTW主催『働きがいのある会社』ランキング従業員数 25～99人部門 5位を獲得 ↳サイトhttps://hatarakigai.info/ranking/japan/2024.html ・3年連続ラングイン
							(2) 社内のDX化の更なる推進	・営業管理ツールの導入 / 仕組み化促進 ・資料のフォーマット整理
					② 働きやすい環境づくり	心理的安全性の高い職場環境の構築とカフェスペースでの健康推進を通して、「心も身体も健康」な環境を構築	(1) 心理的安全性の高まる組織づくりで離職率 10%を維持	・毎週月曜日に、30分の朝礼を実施 ・IGU(勉強会)を週3回実施 ・経営方針発表会を年 2回実施 ・会社アンケート調査 / ストレスチェッカー を毎月実施
							(2) アイグッツカフェを通じた健康経営の推進	・健康食品の調査と発注リストの見直しを実施 ・カフェの取り組みを見える化するボードの作成
					③ 女性の活躍	女性が活躍できる環境を整える	(1) 管理職社員の育成体制の構築	・年2回の育成研修の実施
		(2) ライフステージが変化しても働きやすい制度・環境構築	・社内託児所利用 ・ライフワークコース移動実績あり					